

令和3年度第1回光市行政改革市民会議【要旨】

開催日時 令和3年7月2日（金）

13時15分～15時

開催場所 市役所本庁大会議室1、2号

1 委嘱状交付

委員を代表して、藤本悦歌委員が市長から委嘱状の交付を受けました。（委嘱期間：令和3年5月28日～令和5年3月31日）

2 市長あいさつ

皆様こんにちは。

大変暑い中、こうしてお集まりいただきありがとうございます。

先ほど司会者から申しあげましたように5月28日に、この会議を開催する予定でありました。新型コロナウイルス感染症拡大ということを経て今日になったわけではありますが、おかげ様でワクチンの接種については、光市においては順調に推移しているところであります。皆様方も、間もなく接種ができるのではないかと考えています。接種ができた暁には、私はいち早く経済を立て直すために様々な対策をとっていく必要があると考えています。これから2年間よろしくお願ひします。

さて、行政改革という言葉を聞くと私たちは少し身構えるところがあります。皆様も行政改革という言葉には様々な思いがあるのではないかと思います。例えば、民主党政権下の事業仕分けですが、これは無駄、これも無駄、だからやめようというイメージを持たれる方も多いのではとっているわけです。確かに行政はお金が大変かかる場所です。今現在予定されているだけでも、防災指令拠点施設ができますし、光駅の橋上化、これも差し迫っているわけです。その他にも皆さん見てわかるように、庁舎の老朽化も著しいわけでありまして、あの平成30年7月豪雨によって、この本庁舎の建設も一時凍結をしたのでありますが、いずれこの庁舎も建て替えなければならないのは事実であります。この他にも、例えば水道や下水道の管が老朽化していく中で、これもやりかえなければならない。こう考えると本当にお金がかかるわけでありまして、私たちはお金を作るには、増税を増やすあるいは経費を削減することぐらいしか頭にないのですが、増税を増やすというのはなかなか難しく、経費の削減という事に目がいくわけでありまして、これに加えて、防災あるいはコロナ対策といったものも手をつけなければならない。

こういった事で政府は、「DX」デジタルトランスフォーメーション、デジタル化することで、日本を再構築していこうという動きをしています。私どもはやはり確かにそれはそうだなと思っているのですが、いわゆるデジタル化と云ったら、マイナンバーカードを作る、これはデジタル化ではありませんし、またキャッシュレスすることもデジタル化ではありません。

デジタル化の本来の目的というのは、デジタル化することによって豊かな社会を建設していくこと、つまり私たちの生活を良くしていくこと、これがデジタル化の本当の大きな目的であり、それによって経費も縮減できる、そういう良い循環を今しようと私たちは捉えていますし、政府もそう捉えているのではと想っているところでもあります。

なにはともあれ、子どもはそうやってこの社会を変革していかなければならないのですが、私が皆様をお願いするのは、やはり今のようなこの光市において私たちの豊かな生活とは何かというものを考えていただき、それに向かうためにどうするのか。それに向かうために経費をどう縮めていくのか、私たちの光市を豊かな社会にするということを念頭に置きながらも、なおかつ経費を縮減していくという二律背反の本当に難しい課題を皆様方と一緒に考えていくわけであります。よろしくお願ひしたいと思っております。

私は豊かな社会にしていくという大きな目標を持っており、豊かな社会と言ったらさまざまな部分でさまざまな思いを持っているのでありますが、今私にコロナ化における豊かな社会を一言で表せと言われたら、「市民サービスにおいて格差のない社会」これが豊かな社会ではないかというふうに感じています。皆様方におかれましても大上段に振りかぶった言い方でなく、自分の身近なところを豊かにするためにはどうするか、それにはどういった改革が必要なのかということも踏まえて、私たちの思いを聞いていただき、皆様方の思いを述べていただく、そのような場面にしていただきたいと思っています。

どうか2年間よろしくお願ひします。

3 自己紹介

名簿の順番に、所属等と共に自己紹介が行われました。

4 会長、副会長の選出

森永晃仁会長、佐野三和子副会長を選出。拍手で承認されました。

会長あいさつ

今回、この会長という職をたまたま任期という面でお預かりしましたが、このまちづくりの主役は、市民一人一人だと思っており、先ほど冒頭市長より豊かな社会という言葉がありました、一人一人思い描く豊かな社会があると思います。

僕よりも人生経験が豊富な方々が委員でいらっしゃいますし、言っではいけないことはないと思いますので、いろんな意見を出し合って、それぞれの皆さんが思い描く豊かな社会になるような一案がこの会議で示せばいいと思います。

お役に立てるように頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

副会長あいさつ

私もおそらく任期の関係で副会長というすごく大きな役をいただけているのかなと思いました。

私自身、家庭に帰れば主婦で子供を育てております。1人は市外に出ましたが、また子供が帰ってこれるようなまちがつくれるように、皆様のご意見をいただいて、どんどん私もそれをサポートできたらなと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

5 議題

(1) 市民会議の位置付けと役割及びこれまでの行政改革の取組について

市民会議の位置付けと役割及びこれまでの行政改革の取組について、事務局が説明した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

予算を削減していく方向でのいろいろな改革という話だと思うんですが、今後いろいろなアイデアを考えていく中で、予算削減の方向でなくてもいろいろ考えていっても大丈夫ですか。

事務局

市民満足度の向上と豊かな社会に繋がる市民満足度の向上に主眼に置いて進めていくところもありますので、単に予算を減らすということだけが行政改革ではないと事務局サイドでは考えております。

会長

私もすごく今共感するところがあります。行革というと削減という方針ばかりですが、地方公共団体の行う事業は、住民福祉の増進や住民サービスの向上ということが、いわゆる地方自治法の中で明確に謳われているので、お金をかけてもそこに意味があれば、それはいいのではないかなと思っています。

先日もニュースで千葉県の事故がありましたが、行政側の目ではなく市民の目から見ると、なんでガードレールの設置がなかったのか、求めていたのにと感じてしまいます。見方がいろいろあるので何とも言えないですが、市民が安全に暮らすという視点から見たときに、光市に欠けているものがあるのではないかという視点もあってもいいのかなと個人的には思っていますので、無駄を排除するだけの方向性ではなくて逆の方向も、これがないのではないかという視点も取り入れながら、皆さんと意見交換できればと思います。

(2) 行財政構造改革推進プランの策定方針について

行財政構造改革推進プランの策定方針について事務局が説明した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

要はこの2年間の中で一つの改革のイメージを示されて、それに対して皆で協議して改善を図るということでもいいですか。

事務局

今年度に限って言えば、来年度からスタートする行財政構造改革推進プランと公共施設総合管理計画の改訂をメインで扱い、来年はまた違う案件を扱います。

委員

具体的には、行財政構造改革推進プランの説明資料の5ページから7ページの「ゆたかな社会」の実現を目指す未来挑戦プロジェクトがメインになるということですか。

事務局

おっしゃる通りです。ただし、これについては今ここでは概略を説明をしたのですが、これはあくまで他市の事例などでこのようなものがあるということを挙げている段階ですので、実際にこれに取り組むかということではなく、現在所管課と精査をしてる段階です。

委員

意見として例えば、これは笑い事になるかもしれませんが、Ⅲの「時代の変化に対応できる職員の育成と組織の構築」というのがありますが、今、ジェンダーというか男女同権という考えがありますが、極端なことを言えば職員の男女比率を1対1にして欲しいという意見でもいいのですか。現実には男性の多いので、そうはならないかもしれませんが、今後5年間で今の2対1の比率が、1.5対1ぐらいになればと思います。日本全体が低いので、光市だけでも女性活躍の市にできたら良いと思います。近隣の下松が一生懸命頑張っているの、光も何か目玉を作っていただき、他の市と違う何かポイントを当てて、今の男女の職員の数等特徴ある活動に取り組んでいただくと非常に良いと考えます。

事務局

「ゆたかな社会」の実現を目指す未来挑戦プロジェクトで位置付けていきたいと思います。そういった気づいたことをなんでも結構ですので仰ってください。

委員

3ページのコミュニティ交通というのがとてもいいなと思ったのですが、これは有償で自治体が受けられているのでしょうか。

事務局

これは先ほど一石二鳥の取組をしている伊保木地区の取組なのですが、車を市が無償貸与し、伊保木の方が利用者からお金をいただいて運営をしています。しかし伊保木地区も高齢化が進んでおり、運転手さんになれるための年齢制限もあるので、なかなか厳しくなっていると伺っています。しかし、担い手として今元気な高齢者が地域を支えることがとても大切になってきているので、そういった取組ができるととても魅力的な地域ではあります。

委員

室積でもお店が少ない場所に住んでいる方や高台に住まれてる方、車がなくて困っている方もいらっしゃるかと最近聞いたので、すごくいいなと思って質問させていただきました。ありがとうございます。

会長

これからおそらく事務局の方で現状の光市の課題とそれに対して行政としてやるべきこととやできること、行政にしかできないことなどの整理をつけながら提示をしてくれると思いますが、私達の方は、市民目線で民間としての目でどういう光市にすべきかというようなことが意見としてまとめられていければと思います。その辺りは次回以降、より活発な意見をいただければと思います。

(3) 光市公共施設等総合管理計画の改訂方針について

公共施設マネジメントの進捗状況について、事務局が報告した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

2 ページ上段の表ですが、社会保障費が増えて税収が減っているということが表されていますが、これは民間だと逆です。税収つまり収入が減って、経費が増えて赤字になりましたとなれば民間は途端に倒産するのです。だからこんな事業計画は書けません。税収を増やし経費を減らして利益を出して、豊かさを求めるというのであればわかるのですが、税収が減って、縮減する中で掲げる豊かさって一体何なのかなっていうところが気になりました。

事務局

これはあくまで今、想定される状況ということで、こういう計画を立てているというわけではありません。説明の仕方がよくなかったのかもしれませんが、世の中の状況として、これから社会保障費が増えていきますということを表しているのです。そして先ほどのいろいろな説明の中でありましたように 2025 年、2040 年に向けて人が減っていく状況なので、このままでは駄目ですというあくまで前提の話であり、そのような計画を立てているということではなく、それを受けて、公共施設を減らしていく計画です。

委員

僕は会社に入って最初に教えてもらったことで未だに忘れられない 30 年前の話ですが、1 に利益追求そして社会貢献であると。利益追求なくして会社の存続はない、だからお前らは利益を求めろ、それから社会貢献であると習ったのです。

道路を作る際、最初の計画が少ないのに、蓋を開けるともっと膨らんでいたということはあるのに、こういうことになると逆のことを言ってるっていうのは、どうなのかなっていうのをすごく感じました。

また、行財政構造改革推進プランの策定方針についてですが、4 ページ下段の策定の留意点の二番の高齢者等に配慮した「人にやさしいデジタル化の視点」とあります。高齢者という言葉がよく使われるのですが、先ほどの人口が減ることよりも、光市にとって一番重要なのは、若者の流出をどうやって抑えるか、特に子供を産む女性たちがいかにここに留まってくれるかを考えなくてはいけないのです。そのためには、財政が厳しいと言ってるころには若者は留まりません。みんな東京行ってしまいます。これからデジタル化により地方にしながら東京にいる場合と同じ仕事ができるようになるので、わざわざ東京に行く必要がなくなります。東京に行くメリットが薄れたので、これこそまさしく地方にとっては千載一遇のチャンスではないでしょうか。ここに若者やこれからを担う子供たちという言葉が出てこないとおかしいんじゃないのかなと思います。

事務局

ありがとうございました。次の段階の協議の中ではそういったものが取り込められるかどうか検討していきたいと考えています。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。

2ページでは今人が実際に人口が減っている一方で社会保障費が増えていきます。こういう状態になるので、まさに今委員さんが言われたように、そうならないために今この計画を作ろうとしており、どうしたら良いかということは今から皆さんに考えていただくとしているので、今後こういう状況になりますということを今回皆さんにお示ししました。こうならないためにどうしたらいいかということ、第2回目から皆さんに考えていただくということがこの会議の趣旨になりますので、高齢者ではなく、若者をどうしたら留めることができるのか、まさにそのような視点でいろいろご意見を頂戴できればと思っています。

委員

建物を維持したければ、税金が必要です、よって市民税を上げますということでないとおかしいと思います。建物は維持しますが税収は減っていきますではおかしいのではないのでしょうか。このまま維持していくには10億円不足するので、その分を何とか回収しないとイケないので、こうしますよっていことがあれば話は別ですが、それが無いのに維持していくというのはおかしいです。

事務局

公共施設等総合管理計画については、維持費がかかっている状態ですが、今は皆さんが使用しているので維持しています。しかし、今後維持ができなくなる状態が来るので、それを回避するためにはどうすればよいかというと、使わない施設については廃止し、使う施設については残すということになります。このバランスを上手に取って、皆さんが使いやすい施設となるようにすることがマネジメントの本来の趣旨ですので、その点についての意見も今後の中でぜひ検討いただき、貴重なご意見をいただければよろしいかと思います。ぜひよろしくをお願いします。

会長

市の財政、予算については、私たちが選んだ議員の方々が議会を通じてきちんと関心いただいているという前提だとは思っていますが、市民会議の場で私も含めて市の財政が今どうなっているかということは分かっていません。漠然と税収が減っているのだらうとは思ってはいるのですが。しかし光市としても事業を行う以上それを賄うための収入は何かしらで、それが税金なのか、あるいは市債なのかと様々な財源があると思うのですが、もし市の財政状況を簡単にレクチャーいただけたらより意義深い会議になるのかなとは思っていますので、機会があればお願いしたいなと思います。

委員

私も民間の出身ですが、今委員さんが言われた全くその通りです。だから、行政がすることと民間がすることには、ずれがあり、若い時から光市は何をしているのかということとはたくさんありました。

いい例が下松があります。住みやすさランキングで下松は全国で10位です。光市や周南からも何人も下松に家を建てて引っ越しているようです。今委員さん言われたように、ここに住みたいという気持ちが、どこが違うのでしょうか。光市は812市中254位でそんなに悪くありませんが、隣の下松市は非常に素晴らしいのです。下松市の隣にいながら、何が違うのかと思いますが、下松市は財政は良いからから様々な施策ができるのでしょうか。しかし、若者が集まる何かがあるのでしょうかが私にはよくわかりません。

職員の男女比率等何か目玉を作っていただいき、委員さんが言ったようなことも反映しながら少しずつ変えてもらったら良いのではと思いました。ありがとうございます。

事務局

そういった視点でどんどん発言していただいて新しいプランの中に記載していけたらと考えてますので、よろしくお願いいたします。

6 その他

事務局から、今後のスケジュールについて事務連絡がありました。